

令和2年度2月教育委員会 会議録

開催日時	令和3年2月19日（金） 13:30～15:00	
開催場所	町民総合会館 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員 綾野克紀委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、石原知子主幹 綱島健二主任
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 早島町社会教育施設等の使用料に係る減免基準を定める規程の改正について (2) 早島町家庭教育支援チーム設定要綱の新規制定について (3) 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について (4) 義務教育学校「はやしま学園(仮称)」に関する提言について (5) その他 3 連絡 4 閉会	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

1 開会

教育長あいさつ

教育長：先月早島こども議会を開催した。幼稚園・小学校・中学校の子どもたちが早島ESDタイムで探究したことで地域提案をしたが、考えさせられる、よい提案ばかりであり、マスコミも感心していた。パートナーシップ制度についてはエビデンスを明確にして説得力のある提案であり導入に向けて検討していくようだ。これからも、子どもも大人も協力して、よりよいまちづくりに向けて取り組んでいきたいと考えている。保護者には、ゆるびの舎から家庭配信を行い、多くの方が参観

してくださったようだ。、学びの歩みを止めないということで、3月6日には、はやしま子どもフォーラムを開催し、全学校園での学習成果を発表することになっている。午後からは、中山芳一先生をお迎えして、非認知能力について講演会を行う予定にしており、ぜひ聞きに来ていただきたい。

2 議事・報告案件

(1) 早島町社会教育施設等の使用料に係る減免基準を定める規程の改正について

綱島主任：深砂公園の野球場とテニスコートについては、都市公園使用量減免規程を適用することとする。深砂公園については、現在社会教育施設とみなして100%減免になっている。4月からは都市公園使用量減免規程を適用し、スポーツ少年団が50%減免、その他は減免なしとなる。町の規程から都市公園の規程に変更するということである。

竹井委員：減免対象は、スポーツ少年団だけなのか。

綱島主任：学校の利用については、都市公園の減免規程においても100%減免となる。

綾野委員：都市公園条例も早島町が定めているのか。

教育長：建設農林課の規定である。

綾野委員：町の規程と都市公園の規程があるなら、町規程では100%減免、都市公園規程では50%減免と二重のルールが存在していることにならないか。大変わかりにくいように思うので、町でそろえたらよいのでは。

教育長：確かにそうである。町として統一できるところは検討する価値はあると考えるが、他課にもこうした意見があったことは伝えておく。

黒木課長：スポーツ少年団は、南グラウンドを使用して練習していることが多く、深砂を使う回数は少ない。

竹井委員：南グラウンドは減免対象か。

黒木課長：南グラウンドは社会教育施設になるので100%減免である。

教育長：このたびの減免の変更については、事前に各団体に伝えておく必要がある。

綾野委員：なぜ、公園だと減免できないのかと聞かれると思うが。

教育長：都市公園規程にあるためということになる。

竹井委員：利用者にとっては、社会教育施設も都市公園も関係なく利用しているので、減免の規程が違うのは分かりにくい。

教育長：こうしたご意見をいただき、減免について今後の検討課題でもあると考える。それでは、早島町社会教育施設等の使用料に係る減免基準を定める規程の改正についてはよいか。

全員：了承した。

(2) 早島町家庭教育支援チーム設定要綱の新規制定について

黒木課長：早島町では、地域全体で家庭教育を充実させることを目的として、約2年間

支援チームの在り方について模索してきた。チームとしての機能が充実しつつあり、早島町家庭教育支援チーム設定要綱を新規制定することとした。令和3年4月1日より制定したいと考えている。

教育長 : 2年前は、5名でスタートしたチーム員が現在では10名となっている。早島は子育ての場所が少ないといわれていたため、町内の子育てに係る施設を広報誌に記入することで、周知を図ることができた。

大森委員 : 2年間実施された経緯もあり、まずは、継続して行うことが大切ではないか。

教育長 : 早島町家庭教育支援チーム設定要綱の新規制定についてこれでよいか。

全委員 : 了承した。

(3) 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

教育長 : 会議の評価については、円滑に行えたように思う。また、教育委員会の公開性については、会議内容や実施事業等を公開することで、町民に広く示している。

綾野委員 : 点検・評価は誰が誰に対しての評価になるのかが明確になっていないのでわかりにくい。計画があつて、評価がある。事務の点検・評価の部分にも計画が必要である。目標を計画に直したらよい。

教育長 : 了解した。再度見直しをする。また、学校教育重点事業については、今年度全国学力・学習状況調査が中止となり、数値を明示することができないため県調査の結果として小学5年生と中学2年生の数値を入れている。来年度からは、県も新しい目標を掲げるため、町の目標も項目を合わせていきたい。

竹井委員 : 読書の様子も大変気になるところである。宿題に読書を入れるなど工夫が必要ではないか。

栗坂委員 : 読書を宿題にすると、個人差が大きいので不登校の原因になることも考えられる。読書を自主学習にするなど、個に応じた対応が必要である。

竹井委員 : 広報誌を活用して本の紹介や読書感想文を掲載する読書コーナーを載せてはどうか。

教育長 : 宿題の目的を明確にしながら、個別最適な家庭学習を推進したい。家庭学習の時間や読書量は本町の大きな課題であり、自分で目標を決めて主体的に取り組めるよう工夫がしたい。学校に提案したい。

竹井委員 : 宿題については、力がある子はどんどんできる。簡単に終わる宿題だけでなく、一人一人の力に合った宿題を出すことが必要ではないか。

教育長 : 小中一貫教育に向けて、早島町では小学校高学年で教科担任制を実施しているが、全国の取組を見ているとチームで学年担任をしたり、二人担任をしたりするなど、まだまだ取り組むべき内容があると感じた。学級担任から学年

担任への意識の変化が必要であり、それにはシステムを作るべきだと考える。よりよい方向を模索したい。点検・評価報告書については、本日の意見を参考に修正していく。

令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてよろしいか。

全委員 : 了承した。

(4) 義務教育学校「はやしま学園(仮称)」に関する提言内容について

教育長 : 本日の総合教育会議に合わせて、岡山理科大学の平山先生と協議したことをまとめていただいた。本日の総合教育会議で、町長、総務課長を交えて話し合いを行っていくので、今までも検討してきたことではあるが、再度ご覧いただきたい。

(5) その他

教育長 : 校園長から、今年度の卒業式に関して、来賓の出席はご遠慮いただくと聞いている。町長と教育長は出席し言葉を述べることになっている。また、昨年度は臨時休業中だったので、教室で行ったが、今年は感染症対策に十分配慮して体育館で式を行うことや、体育館への保護者の出席について小中学校は1名と聴いている。他の保護者は他の場所でライブ配信するようだ。PTAと十分相談して決めたことだとは思いますが、この1年、保護者にも子どもたちにもコロナとの共生で我慢することも多かったと思う。それだけに心のこもった卒業式になればと願っている。

3 連絡 (3月の予定について確認)

4 閉会

教育長 : 本日の教育委員会は閉会となるが、この後、引き続き総合教育会議を15時30分から始めることとする。

・ 3月教育委員会 3月12日(金) 15時～17時 集会室